

神無月班

鈴木美智子

5月の班会は材料を持ち寄りマスク作りとなりました。すでに作成されたマスクの品評もしながら、3密を避けて、自分好みの物を作成。しんぶんタイムとしては時間を取れなかったけれど、マスクを作りながらしんぶんのホットラインに掲載された記事の話で盛り上がりました。班会に参加できない人たちのために「絵手紙とハンドクリームを送ろう」ということで絵手紙小組の会員が心を入れて作り届けたことが、もらった人が喜んでくれて記事の投稿までしてくれた行動力にすごい!!と感激。つながっていることの思いが通じてうれしかったと喜び会いました。

まつぼっくり班

宮崎育子

畑に集合し、作業… スイカ、カボチャ、トマト、さつまいも、ねぎ、大葉、パセリ、マリーゴールドの苗を植えました。畑作りベテランの会員さんの指導のもとで、腰痛もちの方やひざの痛い方もお互いにいたわりあいつつ、何とか予定通りの作業を終えることができました。10時の休憩の時には、柿の木の木陰で班会。集金とおしゃべり、持ち寄りのおかしでお茶タイムをしながらワイワイと…会員の知り合いの若い人に仲間になりませんかと声をかけています。まだ返事はありませんが引き続き働きかけをしていきます。



班会&小組活動あれこれ

コロナウイルス感染の影響で3月・4月・5月と各種の催し物が自粛され、また会場が借りられない状況もあり、各班の班会や小組活動も制約が余儀なくされました。

そんな中で5月に班会を開いた班・小組からの報告や、電話で聞き取った内容を紹介します。

こがらし班

鈴木治子

支部よりマスク作りとスロースクワットのコピーをもらったので参加者に配布しました。次回は実際にやってみようということになりました。5月14日付一面の食料自給率の向上を今こそ!を読み合わせして意見交流をしました。

ぶちとまと班

伊藤真弓

会場が借りられなく、リズムができなくなり休会にしています。そんな中ですが、お母さんたちとはラインでつながっていて公園で一緒に遊びませんかと声がかかりました。子どもたちも毎日を自宅で過ごしきれなく、お母さんも上の子がいればまたまた大変でみんなに会いたいと思ったのでしょうか。何組かの親子が集まりました。子どもたちも大はしゃぎ、お母さんたちも密にならない様おしゃべり。「こんなふう



に集まるのもいいね」とリズムは休みですがつながっています。



あざれあ班

青野多恵子

5月は3密を避けて短時間で今後の班活動をどのようにしていこうかの話し合いをしました。絵手紙小組は5月25日から会場が借りられるようになったので再開のめどが立ちました。薬膳小組は作ることで、食べる事なので6月から一品だけ作って食べながら食の効能の話をしたりしながら、班会も兼ねていきます。ニュースを発行して参加できない人ともつながっていけるようにしていきたいと思っています。

母子草班

伊藤里実

新しく入会してくれた会員さんが4月から班会に参加してくれているので、コロナ禍の時でしたが5月も班会をしました。支部から資料でもらったスロースクワットをもとに、みんなでやってみました。10回はできませんでしたが5回やって、みんなでやれば何とかできそうと、「班会の度にやればいいね」となりました。しんぶんタイムは5月14日付の「食料自給率の向上いまこそ」を読み合わせ、気候危機が農業を大きく変化させるということもわかりました。



のぎく班

三善裕美子

4月は3密を避けて戸外での班会をしましたが、5月は暑くなってきたので外よりはうちの中ということになり、会員宅で行いました。大きなテーブルが2つもあるので、ゆったりと間隔をあけ3密にならないようおしゃべりを楽しみました。みんな、この間家の中に閉じこもってしまっていたので「おしゃべりたい」という要求がいっぱいでした。レイラも5%引きになるというのでみんなでほしいものを出し合いレイラレディさんが注文を取りました。

